



蓬原の子

「心づかい、思いやり」

校長 徳田 賢一

連日の猛暑に負けず、早めに登校した子供たちが、夜の間に外灯や樹液に集まった昆虫を捕まえようと奮闘する姿に夏の盛りを感じます。新1年生14名を迎え、「わくわく登校 いきいき学び にこにこ下校」を合い言葉に始まった1学期も終業式を迎えます。

さて、私の心に残る一編の詩があります。詩人、宮澤章二さんの「行為の意味」という題の詩を紹介いたします。

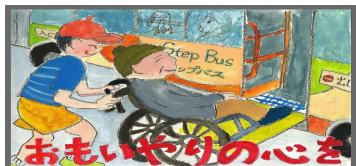
あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのだから
確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりはだれにでも見えるのだ
それは人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
「心」も「思い」も初めて美しく生きる
それは人が人として生きることだ

私たちの心の中には、あたたかで純粋な思いやりの心がありますが、それはいつも見えている心ではありません。しかし、たった一言の言葉かけで心遣いが見えることがあります。言葉をかけることが苦手な人は、微笑みかけるだけでも思いは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる…小さな行為ですが、あたたかな心づかいが伝わる姿です。

「心」は見えないけれど「心づかい」は見える
「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える

短い言葉ですが、この言葉を忘れずに行動することができたならば、私たちの周りにいる人たちは誰もがあたたかい気持ちになれると思います。

これから暑い夏休みが始まります。熱中症も心配な季節です。十分な水分補給と水難事故や交通事故の防止を念頭に安全な夏を楽しんでください。9月1日(月)の2学期始業式には全員が元気な顔を見せてくれることを楽しみにしています。



校内水泳大会



7月8日(火)に、「校内水泳大会」が実施されました。2校時に「3・4年生」、3校時に「1・2年生」、4校時に「5・6年生」の順に実施しました。

当日は朝から30度に迫る暑さで、空もきれいな青空で、水泳大会には最適な環境でした。水泳大会の直前の授業では、授業中からそわそわして、「早く泳ぎたいなあ。」という気持ちを表れていました。保護者の方々も、暑い中、日傘を差し、熱中症対策をしながら、大勢参観にいられていました。

水泳大会が終わろうとしているとき、ある児童が、「あーっ、楽しかったなあ。もっと泳ぎたかったなあ。」と言って、満足そうな顔をしていたのが印象的でした。

今年の水泳学習も一学期で終わりました。水泳学習が始まった時には、水面に浮くことができなかった児童が、今は体の力を抜いてプカプカ浮いていたり、25mを何回も足を着かないと泳げなかった児童が、一回も足を着かずに泳げるようになったりするなど、児童一人ひとりの泳力の向上が見られた一学期でした。夏休みも、プールや海水浴場で楽しみながら、泳力を鍛えてほしいものです。

